

CITY OF YOKOHAMA

健康づくり・スポーツ推進特別委員会

身近なスポーツの場の創出の 取組について

にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課

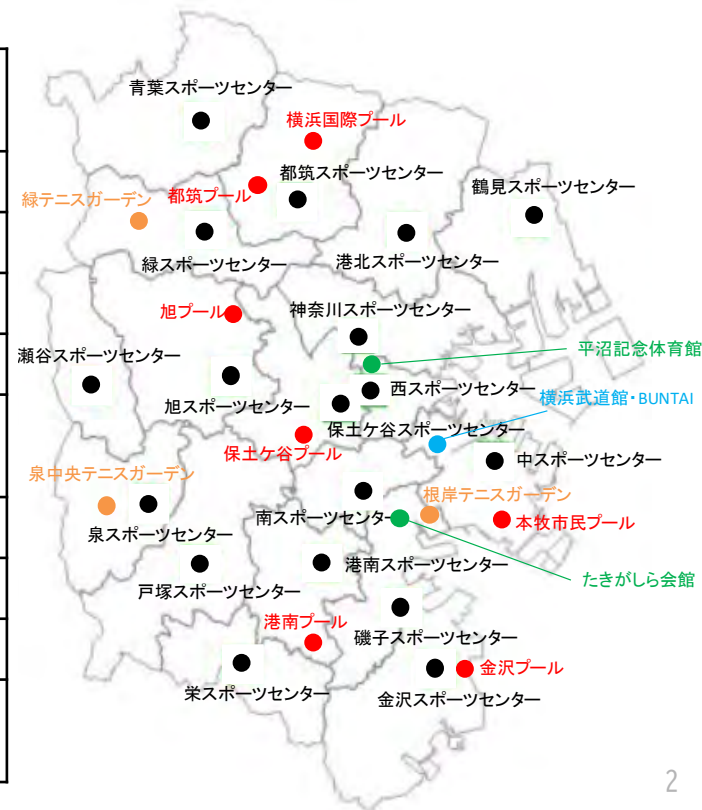
令和6年9月30日

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

○地域のスポーツ施設の設置状況及び管理・運営方法

横浜市スポーツ施設条例等に基づき、次の施設を所管しており、個人や地域の団体の皆様にご利用いただいています。

施設名	管理運営方法	主な予約申込方法
スポーツセンター（18館）	指定管理	予約システム
平沼記念体育館	指定管理	予約システム
たきがしら会館	指定管理	予約システム
横浜国際プール	指定管理	予約システム
屋内プール（港南・保土ヶ谷・旭・金沢・都筑）	指定管理	予約不要
本牧市民プール	P F I（指定管理）	予約不要
横浜BUNTAI	P F I（指定管理）	施設へ直接申込
横浜武道館	P F I（指定管理）	施設へ直接申込
テニスガーデン（根岸・緑・泉中央）	スポーツ協会 自主事業	予約システム



○地域のスポーツ施設の利用状況

■スポーツセンター基本室場：第1～3体育室、トレーニング室、研修室

施設名	R5利用者数 (人)	特徴的な室場	施設名	R5利用者数 (人)	特徴的な室場
鶴見スポーツセンター	189,402		金沢スポーツセンター	223,116	
神奈川スポーツセンター	185,229		港北スポーツセンター	250,663	テニスコート
西スポーツセンター	261,212	プール	緑スポーツセンター (※2)	31,176	
中スポーツセンター (※1)	160,147		青葉スポーツセンター	232,753	
南スポーツセンター	270,798		都筑スポーツセンター	172,959	
港南スポーツセンター	244,725		戸塚スポーツセンター	293,497	弓道場
保土ヶ谷スポーツセンター	319,506	テニスコート インラインホッケー	栄スポーツセンター	247,286	
旭スポーツセンター	194,749		泉スポーツセンター	226,567	弓道場
磯子スポーツセンター	204,320		瀬谷スポーツセンター	226,442	

※1 R4.6.1～R5.5.31に休館

※2 R5.6.1～R6.3.31に休館

○地域のスポーツ施設の利用状況

施設名	R5利用者数 (人)	施設名	R5利用者数 (人)
平沼記念体育館	127,602	都筑プール	154,583
たきがしら会館(※1)	81,152	本牧市民プール (R5.7月供用開始)	120,046
横浜国際プール	615,025	横浜BUNTAI (R6.4～8月実績)	148,423
港南プール(※2)	57,425	横浜武道館	670,273
保土ヶ谷プール(※3)	65,679	根岸テニスガーデン	75,139
旭プール	98,587	緑テニスガーデン	43,955
金沢プール(※4)	125,452	泉中央テニスガーデン	36,694

※1 R4.6.1～R5.6.30に休館

※2 R5.10.5～R6.3.31に休館

※3 R5.11.1～R6.2.11に休館

※4 R6.1.4～R6.2.16に休館

○地域のスポーツ施設の利用方法

【市民利用施設予約システム】

市民（市内在住・在勤・在学のいずれかを満たす方）及び市外在住（※）の16歳以上の方が、市民利用施設予約システムに登録し、施設利用にかかる抽選、空き施設申込等をインターネット等により行います。

※市外在住の方は抽選に参加できないなど制限を設けています。

■対象施設 計80施設

◇スポーツ施設 58施設

- ・スポーツ振興課所管施設（各区スポーツセンター、平沼記念体育館、たきがしら会館、横浜国際プール、テニスガーデン）
- ・みどり環境局所管施設（その他公園、野球場等）

◇文化施設 22施設

■対象外施設（当課所管施設）

屋内プール、本牧市民プール、横浜BUNTAI、横浜武道館

○予約システム対象施設の抽選倍率（当課所管施設）

施設名	倍率（全日）	倍率（土日）	施設名	倍率（全日）	倍率（土日）
鶴見スポーツセンター	4.1	6.0	金沢スポーツセンター	3.1	4.8
神奈川スポーツセンター	5.6	7.9	港北スポーツセンター	7.9	12.6
西スポーツセンター	4.1	5.9	緑スポーツセンター	4.6	6.4
中スポーツセンター	2.9	3.8	青葉スポーツセンター	4.9	6.6
南スポーツセンター	5.4	7.3	都筑スポーツセンター	5.2	6.7
港南スポーツセンター	5.2	6.5	戸塚スポーツセンター	4.7	6.6
保土ヶ谷スポーツセンター	4.3	5.0	栄スポーツセンター	3.5	4.8
旭スポーツセンター	3.1	3.7	泉スポーツセンター	2.9	4.9
磯子スポーツセンター	4.3	6.0	瀬谷スポーツセンター	3.0	3.5

※対象：予約が必要な体育室等の室場

※倍率は新システム稼働後のR 6.1～9月実績

○予約システム対象施設の抽選倍率（当課所管施設）

施設名	倍率（全日）	倍率（土日）	施設名	倍率（全日）	倍率（土日）
西スポーツセンター プール	1.5	抽選申込なし	平沼記念体育館	4.4	7.8
保土ヶ谷スポーツセンター インラインホッケー	抽選申込なし	抽選申込なし	たきがしら会館	3.0	3.4
保土ヶ谷スポーツセンター テニスコート	3.0	3.6	横浜国際プール	4.3	4.3
港北スポーツセンター テニスコート	10.2	17.0	根岸テニスガーデン	2.4	2.7
戸塚スポーツセンター 弓道場	1.1	1.1	緑テニスガーデン	4.6	4.8
泉スポーツセンター 弓道場	1.1	1.1	泉中央テニスガーデン	2.0	2.0
横浜国際プール テニスコート	3.1	4.0			

※対象：予約が必要な体育室等の室場

※倍率は新システム稼働後のR 6.1～9月実績

○スポーツ施設の不足に対する取組

既存施設の有効活用等により、スポーツができる場の確保・充実を図っています。

・学校施設への夜間照明設置事業

【取組内容】

地域の方々の身近な場所でスポーツを行う場を確保し、夜間でもスポーツを気軽に楽しむ機会を創出するため、学校施設へ夜間照明を設置しています。

令和6年9月時点で、横浜市立小中学校25校に設置しています。
(教育委員会所管 22校／にぎわいスポーツ文化局所管3校)

【実績】 3校の設置

令和3年度 青葉区鉄小学校に設置

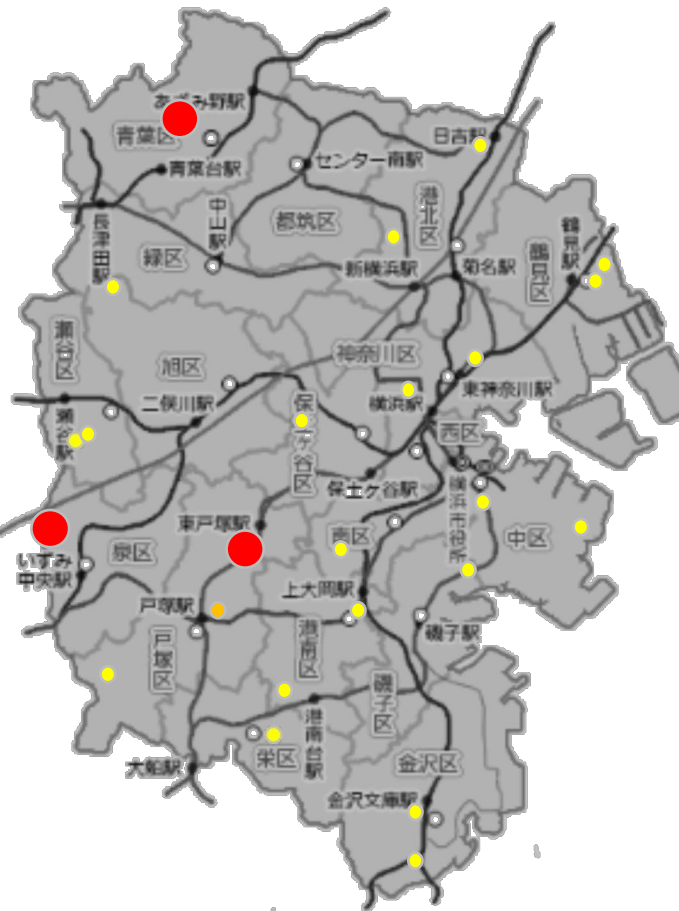
令和4年度 戸塚区柏尾小学校に設置

令和6年度 泉区上飯田中学校に設置 (11月供用開始予定)



写真：戸塚区柏尾小学校

横浜市における小中学校の夜間照明設置状況（令和6年9月時点）



区	中学校●	小学校●	区	中学校●	小学校●
鶴見	2	0	金沢	2	0
神奈川	1	0	港北	2	0
西	1	0	緑	0	0
中	2	0	青葉	0	1 ※鉄小●
南	1	0	都筑	0	0
港南	2	0	戸塚	1	2 ※うち1校 柏尾小●
保土ヶ谷	1	0	栄	1	0
旭	1	0	泉	2 ※うち1校 上飯田中●	0
磯子	1	0	瀬谷	2	0

中学校●21校／小学校●1校／スポーツ振興課設置●3校

R 5 学校開放校庭利用者数（昼夜間比較）

	夜間校庭利用			昼間校庭利用		
	校数	件数	利用者数	校数	件数	利用者数
小学校	3	272	7,860	330	40,618	1,877,165
中学校	21	2,804	92,096	62	764	26,291
義務教育学校	0	-	-	3	325	14,310
特別支援学校	0	-	-	6	730	23,193
合計	24	3,076	99,956	401	42,437	1,940,959

- 健康づくり・スポーツ推進特別委員会 -

健康づくりの機会創出や健康寿命延伸への取組

健康福祉局 健康推進部・高齢健康福祉部・障害福祉保健部

令和6年9月30日

第3期健康横浜21の取組

- ◆ 第3期健康横浜21（R6～R17）
健康寿命の延伸を目標に、横浜市民の最も大きな健康課題の一つである生活習慣病の予防を中心とした、総合的な健康づくりの指針です。
- ◆ 計画における運動分野の取組
運動は生活習慣病のリスクを下げ、心身の健康につながるため、ウォーキングの推進や座りすぎ防止を普及啓発し、運動を始めるきっかけや習慣化を促す仕掛けづくりを行います。

主な目標	指標	直近値	目標値
より多く歩く人を増やします。	20～64歳で1日の歩数が8,000歩以上の人の割合	46.4%	50%以上
	65歳以上で1日の歩数が6,000歩以上の人の割合	39.2%	48%以上
座りすぎに注意している人を増やします。	座ったり寝転がったりして過ごす時間が長い人の割合	49.5%	47%以下

よこはまウォーキングポイント事業

18歳以上の市民等を対象に、**ウォーキング**を通じて日常生活の中で**気軽に楽しみながら**、**継続して健康づくり**に取り組んでいただく事業です。

専用の歩数計又は**専用の歩数計アプリ**をダウンロードしたスマートフォンを持ち歩くとポイントがたまり、たまった**ポイント**に応じて**商品券等**が当たります。

【令和6年6月末時点の実績】

- 参加登録者数：**37万人**（歩数計：31万人、アプリ：11万人）
※アプリは、歩数計との併用参加者5万人を含む
- 利用者数：**7.2万人**（歩数計：4万人、アプリ：3.2万人）



横浜市スポーツ医科学センター

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

スポーツ医科学に基づき、健康状態や体力に応じたスポーツプログラムを提供するとともに、スポーツを疾病の予防及び治療等に役立てることにより、**市民の健康づくりの推進、スポーツの振興及び競技選手の競技力の向上**を図ります。

主な事業	(1) 健康支援		(2) スポーツ習慣支援	(3) 医科学サポート
	SPS (スポーツ版人間ドック)	MEC (メック・運動療法を取り入れた健康改善プログラム)	教室開催	ランニング測定
	医学的検査及び体力測定を行い、その結果から疾患の予防・改善に向けた効果的な運動プログラムを提供する。また、個々人の健康、体力状況に合わせた運動アドバイス、栄養アドバイス、生活アドバイスをを行う。	クリニックの内科及び整形外科の外来診察で、運動療法が必要と医師が診断した患者を対象に、医師が運動処方を作成。運動指導員のもとで、 <u>運動を実践し、疾患の改善や再発防止を図る。</u>	体操・水泳・トレーニングの「スポーツ教室」や、年間4期制の「健康教室」、減量や筋力向上、姿勢改善等に特化した「目的別教室」など、 <u>利用者のライフスタイルに合わせた教室を開催する。</u>	マラソンの完走や記録向上を目指す市民ランナーのために、トレッドミル（ランニングマシン）を用いて、ランニングを行い、 <u>血中乳酸濃度を測定。レースペース設定やトレーニング強度の確認を行う。</u>

所在地：港北区（日産スタジアム内）
指定管理者：横浜市スポーツ協会



市民ランナーに好評のランニング測定の様子

高齢者向け施策について

元気づくりステーション事業

歩いて行ける身近な場所で、**自主的・継続的に体操やウォーキング**といった**介護予防**に取り組む横浜市独自の介護予防グループ活動です。

区役所と地域包括支援センターの**保健師等が、活動の立ち上げや活動継続に向けた支援**を実施しているほか、**積極的にフレイル※予防**に取り組めるよう、ガイドブック等の作成や、人材育成研修等を行っています。

【令和5年度活動実績】

- ・活動グループ数：348グループ
- ・参加者実人数：7,502人
- ・延べ人数：112,670人
- ・活動回数：8,231回



活動の様子



人材育成研修の様子



フレイル予防のガイドブック
リーフレット

※フレイルとは：高齢期に、こころとからだの機能が低下し、介護が必要になる危険性が高くなっている状態をいいます。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

「今すぐ予防！プログラム『ハマプロ』」の開始

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

高齢者の生活習慣病等の重症化予防やフレイル予防を図るため、市民の健康に関するデータを活用して、フレイルやフレイルのリスクが高い高齢者を把握し、民間スポーツクラブと連携した介護予防サービスや、医療専門職による個別支援を提供する「今すぐ予防！プログラム『ハマプロ』」を開始しています。※令和6年度は南・栄・泉の3区で実施。今後段階的に拡大予定。

<取組の概要>

- ① 市民の健康に関するデータを活用し、フレイルやフレイルのリスクが高い高齢者を把握

健診データ

運動機能や口腔機能、栄養状態の低下
診療データ(医療レセプト)
糖尿病、心不全・脳血管疾患等の既往歴
要介護認定情報
未申請者・要支援認定者

または

フレイルチェックシート

高齢者の健康状態を総合的に把握する
質問票の結果

- ② 該当の高齢者の皆様に介護予防サービス利用のご案内をお届け



- ③ 個人の状態に合わせて
- ・医療専門職による介護予防サービス「ハマプロ」の提供
 - ・地域の介護予防活動のご案内



(株)ルネサンス及びセントラルスポーツ(株)と連携し、市内スポーツクラブ6箇所でサービスを提供



老人クラブにおける健康づくり・介護予防活動

老人クラブでは、**会員が地域の高齢者と共に、健康づくり・仲間づくり・地域づくりのための健康増進活動**等を行っています。

また、地域の広場（街区公園等）を活用し、単位老人クラブが中心になって、ウォーキングや市民に馴染みのある体操を組み合わせ、**地域における日常的な健康づくり・介護予防活動を実施**しています。

（令和5年度実績 7,954回、延べ参加人数 136,816人）

<参考>老人クラブについて

仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、「生活を豊かにする楽しい活動」を行い、その知識や経験を生かして「地域を豊かにする社会活動」に取り組み、明るい長寿社会づくりに努めています。

【令和6年4月1日現在 1,319クラブ、会員数82,725人】

障害者向け施策について

横浜ラポールにおける障害者スポーツの推進

横浜ラポールは、「リハビリテーションサービスの向上」「豊かな人生への支援」「共生社会実現への取組」を基軸とし、横浜市内の障害者スポーツ・文化活動の中核拠点として**障害者の多様化するニーズに即した事業**（地域資源との連携を強化した取組等）や、**障害者スポーツ・文化活動に関する情報発信**を行っています。

スポーツ 振興事業

(1) リハビリテーション・スポーツ

隣接する横浜市総合リハビリテーションセンターと連携し、スポーツを活用した社会参加支援プログラム

(2) スポーツ・レクリエーション教室、スポーツ大会等

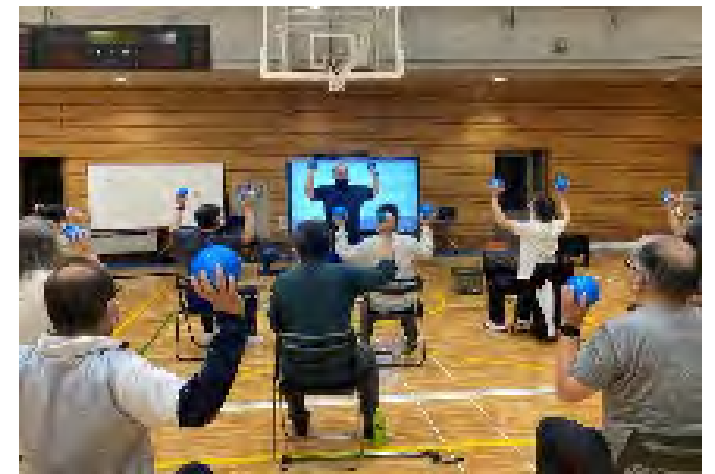
プロサッカーチームと連携した知的障害者のサッカー教室、横浜市障害者スポーツ大会（通称：ハマピック）の開催等。

(3) 障害者スポーツを支える人材の育成

障害者スポーツに関する人材のすそ野を広げる体験会や研修会実施。

(4) 地域支援

障害福祉サービス事業所や特別支援学校等への出張指導等。



健康づくりのためのウエルネスプログラム
(知的・発達)の様子

身近な地域における障害者スポーツの推進

横浜ラポールだけでなく、地域の身近な場所でスポーツが楽しめるよう、「地域支援事業」（市内障害者支援施設や特別支援学校への出張指導等）に取り組むとともに、「人材育成事業」（各区スポーツセンター職員やスポーツ推進委員などの支援者を対象とした研修等）を実施しています。

そのことにより、障害のある方が**気軽にスポーツを楽しめるソフト面での環境整備**を進めています。

<参考:令和5年度実績>

地域支援事業(197回、2,075人)

人材育成事業(22回、534人)



障害福祉サービス事業所への
出張指導（地域支援）

CITY OF YOKOHAMA

健康づくり・スポーツ推進特別委員会

公園におけるスポーツ施設の 整備状況等について

みどり環境局 戦略企画部・公園緑地部

令和6年9月30日

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER

1 スポーツができる公園の整備及び市民の利用状況

- (1) 地域の身近な公園の管理・運営方法
- (2) 公園内スポーツ施設の設置（施設種別等）及び利用状況（有料施設）
- (3) 本格的なスポーツ施設を2種類以上備えた公園の整備状況及び施設改修状況
- (4) 課題

2 インクルーシブな公園の整備

- (1) 現状
- (2) 今後の整備状況

1. スポーツができる公園の整備及び市民の利用状況

(1) 地域の身近な公園の管理・運営方法

身近な公園の管理・運営	大規模な公園、特殊な公園の管理・運営
<p>住区基幹公園 (街区・近隣・地区公園) 都市緑地、緑道</p> <p>▽</p> <p>原則として土木事務所が管理</p>	<p>都市基幹公園 (総合・運動公園) 広域公園、有料施設のある公園 特殊公園 (風致・歴史公園等) 緩衝緑地等</p> <p>▽</p> <p>原則として公園緑地事務所が管理</p>
<p>日常の維持管理や地元利用が中心の運動施設などは、 地域住民等と協働で管理・運営を実施 (公園愛護会、公園施設管理運営委員会)</p>	
<p>有料施設である野球場や庭球場、プールなどの公園内スポーツ施設、 こどもログハウス、古民家・西洋館などは指定管理者等が管理・運営を実施</p>	

(1) 地域の身近な公園の管理・運営方法

美化活動等を行う「公園愛護会」のほか、多目的広場や少年野球場等の地元利用が中心となる運動施設において、地元の皆様を中心に結成された「公園施設管理運営委員会」が利用調整など日常的な管理・運営等を行っています。

公園愛護会

地域の身近な公園で清掃や花壇づくりなどの美化活動等を行うボランティア団体



2,527団体（令和5年度末現在）

公園施設管理運営委員会

地域の身近な公園にある多目的広場等の利用調整、管理等を行う団体



156団体（令和5年度末現在）

(2) 公園内スポーツ施設の設置状況（施設種別等）

施設種別	有料施設	管理運営委員会管理	その他	施設数合計
野球場	21	30 (少年野球場)	1	52
運動系広場	10	111	7	128
庭球場	22	15	-	37
プール	28	-	-	28
弓道場	4	1	-	5
陸上競技場	4	-	-	4
球技場	5	-	-	5
馬術練習場	1	-	-	1
体育館	1	-	-	1
合計	96	157	8	261

【別添資料：公園内スポーツ施設一覧】

(2) 公園内スポーツ施設の利用状況(有料施設・令和5年度)

施設種別	利用人数(人)	利用率
野球場	249,423	53%
運動系広場	151,054	43%
庭球場	764,068	82%
プール	477,323	-
弓道場	60,691	-
陸上競技場	293,389	-
球技場	57,942	-
馬術練習場	11,981	-
体育館	34,657	-

<利用人数について>

- ・野球場は、横浜スタジアムを除きます。
- ・陸上競技場は、日産スタジアム・日産フィールド小机を除きます。
- ・球技場は、ニッパツ三ツ沢球技場を除きます。

<利用率について>

- ・平日・土日祝日、昼間・夜間を含めた年間の利用可能枠数に対する実績数です。
- ・利用時間帯枠の設定がないものは「-」と記載しています。

(3) 本格的なスポーツ施設を2種類以上備えた公園の整備状況

- 市民の多様なスポーツ需要に応えるため、野球場やテニスコート、球技場など 2種類以上のスポーツ施設がある公園を各区に1か所以上設置することを目標に整備を進めています。
- 現在までに18区のうち16区で整備が完了しており、整備が完了していない青葉区、泉区において、スポーツ施設の整備を進めています。

(3) 本格的なスポーツ施設を2種類以上備えた公園の 整備状況及び施設改修状況

区	公園名	公園種別	主なスポーツ施設 ()は整備中・今後整備予定の施設	改修履歴・予定 (R4~R6)
鶴見区	入船公園	地区	野球場・テニスコート	テニスコート 芝張替え (R4)
	潮田公園	地区	野球場・テニスコート・プール	
	県立三ツ池公園	総合	野球場・運動系広場・テニスコート・プール	
神奈川区	三ツ沢公園	運動	(野球場)・テニスコート・陸上競技場・球技場・馬術練習場	
西区	岡野公園	近隣	野球場・プール	
中区	本牧市民公園	総合	運動系広場・テニスコート	
	元町公園	近隣	プール・弓道場	弓道場 改修予定 (R6)
南区	清水ヶ丘公園	運動	運動系広場・テニスコート・プール・体育館	プール 改修予定 (R6)
港南区	日野中央公園	地区	野球場・テニスコート	
保土ヶ谷区	常盤公園	地区	運動系広場・テニスコート・弓道場	
	県立保土ヶ谷公園	運動	野球場・テニスコート・プール・球技場・体育館	
旭区	今川公園	地区	野球場・テニスコート	
磯子区	岡村公園	地区	野球場・テニスコート	野球場 天蓋ネット設置 (R6)
	新杉田公園	地区	野球場・テニスコート	
金沢区	長浜公園	運動	野球場・テニスコート・球技場	テニスコート 芝張替え (R6)
	富岡西公園	地区	野球場・テニスコート	
港北区	岸根公園	運動	野球場・武道場(県立武道館)	
	新横浜公園	運動	野球場・運動系広場・テニスコート・プール・陸上競技場・球技場	球技場 改良工事 (R6)
緑区	長坂谷公園	運動	野球場・テニスコート・球技場	テニスコート 不陸修正 (R6)
青葉区	谷本公園	地区	(野球場)・テニスコート・球技場	テニスコート 人工芝張替え (R6)
都筑区	都田公園	地区	運動系広場・テニスコート	
戸塚区	小雀公園	総合	運動系広場・テニスコート	運動系広場 基盤改良 (R6)
	東俣野中央	地区	運動系広場・テニスコート	
栄区	金井公園	地区	野球場・テニスコート	
泉区	中田中央公園	地区	野球場・(球技場)	
瀬谷区	瀬谷本郷公園	地区	野球場・テニスコート	

(3) 本格的なスポーツ施設を2種類以上備えた公園の整備状況

【現在整備中のスポーツ施設】

区	公園名	公園種別	整備中のスポーツ施設	整備進捗状況
青葉区	谷本公園	地区	野球場（施設詳細検討中）	一部設計の見直し（R6） 事業用地取得中
泉区	中田中央公園	地区	球技場（施設詳細検討中）	基本設計（R6）

(4) 課題

- 公園内スポーツ施設では、施設全般にわたり老朽化が進行しており、特に大規模な施設を中心に施設の改修等については、長期的な視点で平準化しながら進めて行く必要があります。
- 利用団体による応援・歓声や打球等の音に関して、周辺の住民から苦情をいただく場合があるため、利用者の方々には、近隣住民へ配慮した利用を心掛けていただくよう、利用上のマナーをお知らせしています。

2. インクルーシブな公園の整備 (1) 現状

令和5年度に、小柴自然公園（広域公園）に「インクルーシブ遊具広場」を市内で初めて設置しました。

【参考】インクルーシブ遊具広場の概要

- ・ 令和5年9月24日開園（第1期エリアの一部の約4,600m²）
- ・ 障害の有無等にかかわらず、すべての子どもたちが一緒に遊べることを目指した遊具広場
- ・ 障害のある方や専門家の意見をもとに、車いすのまま使える遊具等を整備
- ・ トイレや休憩スペース、飛び出し防止フェンス等、遊具以外の施設にも配慮



車いすのまま乗れる遊具



スロープ付き遊具



座り方を選んで遊べるブランコ

(2) 今後の整備状況

- 誰もが楽しく、快適な時間を過ごせるインクルーシブな公園づくりに向け、方面別に市内4か所の大規模な公園において、インクルーシブな遊具広場を整備していきます。
- 令和6年度は、本牧市民公園で、周辺施設と連携しながら、インクルーシブな公園づくりの視点も踏まえた再整備の計画づくりを進めています。
- これらの取組で得られる知見を生かし、方面別の4か所の大規模な公園のほか、地域の身近な公園でも、今後、新設整備や再整備の機会をとらえ、誰もが使いやすい、インクルーシブな公園づくりを進めていきます。



反町公園



小菅ヶ谷北公園

【別添資料】公園内スポーツ施設一覧

施設名		施設数	公園名																		
			鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	
野球場	有料施設	21	入船 潮田	三ツ沢 神の木 台町	岡野			日野中央		今川 こども自然	岡村 新杉田	富岡西 長浜 野島	新横浜 岸根	長坂谷		俣野	金井	中田中央	瀬谷本郷		
	地元管理	30	平安	菅田いでと			六ツ川 睦町	港南台南 下永谷八木中央 日限山こどもスポーツ 日限山 丸山台	川島町	上白根大池 日向根 若葉台	岡村 洋光台南	称名寺東 草舞台 能見台北 能見台中央	岸根 新横浜駅前	東本郷第三	嶮山	佐江戸 都田	名瀬下第一	いの山東 桂台第四 野七里第一	しらゆり		
	その他	1					横浜スタジアム														
運動系広場	有料施設	10				本牧市民	清水ヶ丘		常盤				新横浜(3)	玄海田		都田	東俣野中央 小雀				
	地元管理	111	佃野 市場旧東海道 新鶴見 元宮さわやか 鶴見花月園	白幡仲町 片倉北 神大寺中央 片倉うさぎ山	戸部 境之谷	本牧ひろば 小港南 柏葉	清水ヶ丘 弘明寺(2) 阪東橋 永田みなみ台 大岡	野庭中央 港南台さえずりの丘	上菅田東部 新桜が丘第五 仏向矢シ塚 星川中央	横浜動物の森 桐谷 笹野台北 白根 西川島町 南本宿 今宿西町 中尾町第四 上川井堂谷	洋光台ひろば 滝頭二丁目	阿王ヶ台 乙舳 釜利谷ひろば 泥亀一丁目 富岡 能見台東 まつかぜ 六浦瀬ヶ崎 六浦大道 富岡総合 関ヶ谷 小柴自然	鶴見川樽町 太尾 綱島	霧が丘 白山 長坂谷 森の台中ノ谷 三保町西	赤田西 赤田東 あかね台鍛冶谷 あざみ野西 泉田向 荏子田 荏田富士塚 大場かやのき 桂台 鴨志田 すすき野 保木 美しが丘 たちばな台第四	牛ヶ谷 牛久保西 川向しものや 葛ヶ谷 宿之入 神無 せせらぎ 都田 早淵 東方 東山田 佐江戸おちあい すみれが丘	踊場 影取北 三王山 戸塚 豊田中央 鳥が丘第一 谷矢部池 川上(2) 戸塚西 上品濃 舞岡八幡山しぜん	千秀 小菅ヶ谷 笠間中央	領家 緑園東 和泉町作右衛門 西が岡	いずみ台 瀬谷猪窪 細谷戸 日向山下原 上瀬谷 南台 瀬谷みはらし	阿久和久保原
	その他	7	入船					久良岐		今川		海の公園			谷本(2)			金井			
庭球場	有料施設	22	入船 潮田	三ツ沢		日ノ出川 山手 本牧市民	清水ヶ丘	日野中央	常盤	今川	岡村 新杉田	富岡西 長浜	新横浜	長坂谷	谷本	都田	東俣野中央 小雀	金井		瀬谷本郷	
	地元管理	15				小港南			逆田橋 天王町南	大貫谷 日向根	洋光台南	阿王ヶ台 富岡総合 能見台北 能見台東 能見台中央	綱島 太尾						しらゆり 上飯田西		
プール	有料施設	28	岸谷 平安 潮田	六角橋 白幡仲町	岡野	元町	清水ヶ丘 弘明寺 中村	野庭中央	川辺	大貫谷 鶴ヶ峰本町	磯子腰越 森町 芦名橋 洋光台南	富岡八幡	菊名池 綱島 新横浜		千草台	茅ヶ崎 山崎	大坂下		しらゆり	宮沢町第二	
弓道場	有料施設	4				元町			常盤			富岡総合							本郷ふじやま		
	地元管理	1								金が谷広町											
陸上競技場等	有料施設	4		三ツ沢(2)									新横浜(2)								
球技場	有料施設	5		三ツ沢								長浜	新横浜	長坂谷	谷本						
馬術練習場	有料施設	1		三ツ沢																	
体育館	有料施設	1					清水ヶ丘														
施設数計		261	14	15	4	11	14	11	11	21	13	30	19	10	20	19	19	10	10	10	

学校開放事業における管理・運営方法について

開放する施設	校庭、体育館、格技場などの市立学校施設
施設管理者 (施設使用許可権者)	学校長
運営主体	文化・スポーツクラブ(以下、クラブ)
運営方法	学校開放の運営については、登録団体や地域の方を中心に組織したクラブが、地域の実情や利用状況に合わせて、基本ルールとなる会則(規約)を定め、運営に必要な諸経費を負担し、自主・自立的に運営しています。
規則・要綱等	○横浜市立学校施設使用規則 ○学校体育施設の開放に関する要綱
利用対象	開放校の学区内または近隣地区に、居住・勤務する方による団体で、クラブが認めた団体(団体登録制)
利用調整方法	各クラブが、会則等に従い、利用調整を行っています。 例：定期的に登録団体が集まり利用調整会議を実施、予約管理システムの予約・抽選機能を活用等
利用者等からのご意見等の対応について	学校から施設の使用許可を得ているクラブおよびクラブに登録している団体が、自己責任のもと学校施設を使用します。施設使用中の事故や近隣住民等からのご意見等があった場合は、登録団体の責任で対応します。登録団体が使用ルールを守れないときは、クラブが注意喚起等を行います。
管理運営ルール等の周知方法	横浜市のホームページ上で手引き、様式等を公開しています。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shogaigakushu/gakushu/kaiho/open.html
備考	学校開放事業は、生涯学習の振興を図るため、学校施設を学校教育や部活動に支障のない範囲で、身近な文化・スポーツ活動などの場として、地域の皆様に開放しています。

学校開放実施校一覧表

Table with columns: 施設名, 箇所数, 学校名, and 20 columns of school names. Includes sub-headers for regions like 鶴見, 神奈川, etc.